



計画的に

第一回目の個人面談も順調に消化中で、今までのところ予定を忘れた者もおらず、さすが3年生としての自覚が生まれているといったところか（笑）。

前に書いたように、とりあえず現在の第一志望を聞いている。国立大学の人がほとんどだが、その場合は、私立大学はどうするのかということ、つまり、そもそも私立も受験するのか、受験するとすればどの程度受験するのか（何校くらい？ 行きたいところだけ？ それとも浪人しないよう幅広く？）、さらにそれと関連して、もし国公立がうまくいかなかった場合、私立への進学もあり得るのか、といったことを聞いている。まだ明確な答えができない人もいるが、その場合は、三者面談に向けて、親子で話し合っておいてほしい旨も伝えている。私立に進学する場合は、それなりの費用がかかるわけだから、保護者との合意形成はぜひとも必要だ。

次に、現在の勉強の状況を確認している。一日どれくらいの時間学習しているのかとか、塾や予備校をどう活用しているのかといったことである。この点では、3年生になって、自習室をうまく活用している人が多くなった印象である。部活の後7時まで頑張っているとか、朝の時間帯に利用しているという人がかなりいる。自宅で勉強していて気分が散ってしまう人は、ぜひあの真摯な雰囲気の中に自分をおいてみるとイイだろう。

同時に、塾や予備校に通い始めた人も増えた印象である。春休みから行き始めたとか、間もなく第一回目の授業があるという人もいた。また、予備校の自習室を利用したいのでとりあえず一講座だけ取っているという人も

いた。それぞれ目的意識をもっているようなので、その目的を忘れずに、塾や予備校をうまく活用することが大切だ。単に通っている（授業に出ている）だけでは何にもならないから、きちんと予習・復習をして、せっかくの講義を生かす体勢を作ること。

*

この後発行する進路通信にも書いたが、日比谷の高3生の標準的な学習時間としては、3（年）+2で5時間が想定されている。「標準的」な時間だから、学習が遅れ気味だという人は当然+ α が必要だし、3年生としての学校の日常学習（授業の予習・復習）の時間が5時間だから、入試に向けて1・2年次の復習をしていたり、塾・予備校の予習・復習が必要な人は、さらに時間を伸ばすことが必要だろう。そのためには、土・日の活用が大きな意味をもってくる。受験までもはや一年を切っているのだから、甘えている暇はない。最後まで全力で走り尽くすつもりで、質と同時に、机の前に座っている物理的時間を増やす努力を継続しよう。中途半端にやって、来年も机に向かわねばならない状況に陥らないように、今年全力を出し切ること！

学習する際は、「どの科目を」「どのくらい伸ばすことが必要か」を意識しよう。今はまだ不得意の克服に全力を挙げるべきだが、いよいよ本番が近づけば、やればやっただけ伸びる科目に力を注ぐことになる。そういう計画性を持つことも大切になってくるので、計画を立てるのが苦手な人は、今から計画を立てて、それを実行するクセをつけおこう。計画があるからこそ、遅れもわかるのだから。